

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05020160

政策目標	2	めぐもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 計画期間は、平成27年度～31年度(5か年) 5年ごとに見直し
基本施策	8	子育て・子育ての充実	事業優先度	A		
単位施策	2	「子育て」支援の強化	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)		
事業名	子ども・子育て支援事業計画策定事業					
事業期間	平成25年度～平成29年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	計画本数、計画進捗率					
事業目標	1計画、進捗率80%					
住民参加 住民協働	有	アンケート調査、子ども・子育て会議委員委嘱	担当課	5 保健福祉課		
			関係課	8 保育所 12 教育委員会教育振興課		
			ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
			関係例規・法令名	有 子ども・子育て支援法		
			関係個別計画名	無		

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
全 体 計 画		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容
計 画 内 容	雄武町子ども・子育て支援事業計画策定に要するアンケート調査の集計・分析に係る業務委託	アンケート調査業務委託	合議制機関設置(策定会議の実施)	計画進行管理	計画進行管理	計画進行管理
	事業計画策定に係る合議制の機関の設置(子ども・子育て会議) 事業計画策定 計画策定後の進行管理	合議制機関設置に係る条例制定	事業計画策定			
計 画 事 業 費	事業費(千円)	1,930	1,300	450	60	60
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	1,930	1,300	450	60	60	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,509	1,316	193	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	1,316				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	193	0	193			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	子育て支援対策事業費補助金	【評価・実績】	子ども・子育てアンケートの実施 合議制機関設置に係る条例制定	事業計画策定		
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/縮小	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値		1計画	計画進捗率80%	計画進捗率80%
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	101%	43%	0%	0%
	全体達成率	68%	78%	78%	78%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	子ども・子育て支援事業計画策定事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	豊田通敏
		評価者 作成者 職氏名	社会福祉係長	内宮真希

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	子ども・子育て支援事業計画	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	策定計画数及び策定委員会開催数	
【抱える課題やニーズは】	子育て支援に関わる課題を把握し、計画に反映させる必要がある。	指標(指標計算式/解説)	指標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	すべての子どもの健やかな成長を実現するための具体的な指針を定める。	① 策定計画数	目標年度	平成26年度
			目標値	1計画
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	家庭、学校、地域、職域、行政各々の子育てにおける役割を明確にすることにより、町内すべての子どもたちが健やかに成長する。	② 策定委員会開催数	実績値	1計画
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	子ども・子育て会議の開催	会議を開催し、計画策定のために内容の検討等を行った。		
	子ども・子育て計画の策定	会議にて検討された内容をもとに、計画の策定を行った。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	子ども・子育て支援法に基づく法定計画で、町が具体的に取るべき施策を定めるものである。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	すべての子どもの健やかな成長を実現するための具体的な指針を定めた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	計画書の印刷を自前でやった。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	人員削減	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町のすべての子どもや保護者に関連する計画である。
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
総合計画を最上位計画とし、子育て支援施策に係る具体的な指針となる計画の策定を行ったので目標が達成された。		

今後の展開方向
(Action)

継続/縮小		
国などの動向を注視し、計画を行った子ども・子育て計画について、会議等を活用しながら計画の進行管理を行っていく。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止